

番 号：140069

国 名：モロッコ

担当部署：農村開発部畑作地帯課

案件名：アブダ・ドゥカラ灌漑地域における灌漑システム向上プロジェクト（営農）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：営農
- (2) 格 付：3号
- (3) 業務の種類：専門家業務

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年4月中旬から2015年3月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.70M/M、現地 8.00M/M、合計 8.70M/M
- (3) 業務日数：準備期間 現地派遣期間 整理期間 現地派遣期間 整理期間
5日 55日 2日 110日 2日
現地調査期間 整理期間
75日 5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：4月2日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービ
ル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」

(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)をご覧ください。

なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：

- ①業務実施の基本方針 16点
- ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
- (2) 業務従事予定者の経験・能力等：
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点

(計100点)

類似業務	営農に係る各種業務
対象国／類似地域	モロッコ／全途上国
語学の種類	英語またはフランス語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：特になし

6. 業務の背景

モロッコ王国(以下「モロッコ」)では、農耕可能地域の大部分が乾燥もしくは半乾燥地域に分類される。そのため、天水に依存している農業地域では、しばしば干ばつによって大きな被害を受け、年間降雨量によって農業生産が左右されてきた。更に、工業用水及び上水需要の伸びが予測される中、限られた水資源を農業に対して効果的・効率的に活用するために灌漑施設を整備することが急務となっていた。

上記背景のもと、モロッコ政府はアブダ・ドゥカラ平野に灌漑施設整備を計画し、第1期でアフリカ開発銀行、欧州投資銀行、アラブ社会経済開発基金の資金援助により1万6000haの灌漑施設が整備されるとともに、第2期では我が国の円借款事業「アブダ・ドゥカラ灌漑事業」(L/A1996年、事業完了2001年、実行額134.26億円)により1万9000haの灌漑施設が整備された。円借款事業による施設の完成後、水資源の効果的な利用や農業生産の安定と収量の増加による農民の生計向上が期待されていた。

しかしながら、その後の事後評価等においては、計画灌漑面積が当初想定通りに達成されていないことや、必要な用水量が確保されていないなどの課題が指摘された。

このため、2010年8月、モロッコ政府は円借款で整備した灌漑施設を効果的に利用するため、我が国に対して新たに技術協力を要請した。JICAは、円借款によって建設された灌漑施設の効果的な利用と農家の生計向上とを目指した取り組みの必要性や可能性を検討し、農業・漁業省地方インフラ・灌漑局及びドゥカラ地方農業開発公団(以下、ORMVAD)をカウンターパート(C/P)機関として、2011年7月から2016年7月までの5年間の計画で「アブダ・ドゥカラ灌漑地域における灌漑システム向上プロジェクト」(以下、「本プロジェクト」)

を実施中であり、現在、3名の専門家(「チーフアドバイザー」、「灌漑技術」、「業務調整」専門家)を派遣している。

本プロジェクトは、円借款で整備した灌漑地区1万9000haを対象地域としており、技術移転と展示効果による成果の普及を目的に対象地域の中でパイロットサイト(約175ha)を選定し、点滴灌漑施設の整備が進められている。営農分野については2013年度にも専門家を派遣しており、パイロットサイトにおける営農計画の作成及び農家への栽培方法指導に加え、契約栽培を実施するための企業及び関連省庁との調整等の業務を実施した。

本専門家は、上記を踏まえ、パイロットサイトにおける2014年度営農計画の最終化、点滴灌漑普及のためのパイロットサイトにおける営農活動の実施・モニタリング、流通改善に関するC/Pに対する指導・助言を行い、モデルとして期待される灌漑農業の試行及び関係者の能力向上を行うことを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、派遣中の専門家(以下「プロジェクト専門家」)及びC/Pと協働し、これまでの活動成果を踏まえ、パイロットサイト(約175ha)における2014年度営農計画の最終化を行う。また、それを踏まえて2014年度から開始するパイロット活動対象地域における点滴灌漑による作物栽培や流通改善活動に関して、C/P機関に対する指導・助言を行うこととする。

具体的な業務内容は以下のとおり。

(1) 国内準備期間(2014年4月中旬～4月下旬)

- ① 本プロジェクト及び過去の円借款事業について、関連既存資料(営農専門家報告書、M/M、R/D等)を通じて事業内容を把握する。
- ② 他ドナーが支援する営農分野に対する活動について、報告書等を通じて支援内容を理解し、さらに本プロジェクト活動との重複を避け、補完関係を構築するためのプロジェクト活動における営農支援活動の位置づけを整理する。
- ③ 業務計画書(和文、英文または仏文)を作成し、JICA農村開発部へ提出・説明する。

(2) 第1次現地派遣期間(2014年4月下旬～2014年6月中旬)

- ① JICAモロッコ事務所、C/P、プロジェクト専門家に対して、業務計画の説明を行い、内容を確認する。
- ② C/Pが主体となって行う下記(ア)～(キ)の活動について、技術的な指導・助言を行う。
 - (ア) 点滴灌漑導入後の作付計画、収益シミュレーションを踏まえて、パイロット活動対象地域における年間の営農計画案をとりまとめる。
 - (イ) パイロットサイトの農家に対して、点滴灌漑によるパイロット営農活動にかかる研修計画策定を行う。
 - (ウ) 農家の契約栽培及び各種補助金申請の手続きを支援する。

- (エ) 点滴灌漑によるパイロット営農活動のモニタリング及び評価の手法を策定する。
 - (オ) 上記(エ)で策定されたモニタリング及び評価手法を用いて、パイロット営農活動のモニタリング及び評価を実践する。
 - (カ) 農家及び水利組合によるモニタリング及び評価の可能性を検討し、可能な実施方法を策定し、導入する。
 - (キ) 営農計画（最終版）に沿った乾季パイロット営農活動における栽培及びマーケティングの現地研修を実施する。
- ③ 現地業務結果報告書(和文、英文または仏文)を作成し、JICAモロッコ事務所及びC/P機関に提出・説明する。

(3) 国内整理期間（2014年6月中旬）

- ① 現地業務結果を、JICA農村開発部へ報告する。
- ② 今後の活動計画について、必要に応じて業務計画書(和文、英文または仏文)を改訂し、JICA農村開発部へ説明を行う。

(4) 第2次現地派遣期間（2014年8月中旬～2014年12月上旬）

- ① JICAモロッコ事務所、C/P、プロジェクト専門家に対して、業務計画の説明を行い、内容を確認する。
- ② C/Pが主体となって行う以下(ア)～(カ)の活動について、技術的な指導・助言を行う。
 - (ア) 農家の契約栽培及び各種補助金申請の手続きを引き続き支援する。
 - (イ) 点滴灌漑によるパイロット営農活動のモニタリング及び評価を引き続き実施する。
 - (ウ) 農家及び水利組合によるモニタリング及び評価の実施方法を策定・導入する。
 - (エ) 営農計画（最終版）に沿った乾季パイロット営農活動における栽培及びマーケティングの現地研修を引き続き行う。
 - (オ) 次年度乾季の営農計画の改訂及びC/Pへの説明を行う。
 - (カ) 営農計画（最終版）に沿った雨季パイロット営農活動における栽培及びマーケティングの現地研修を実施する。
- ③ 点滴灌漑による乾季パイロット営農活動における作物の栽培事例を取りまとめ、簡易版栽培マニュアル（英文または仏文）を改訂する。
- ④ 営農に係る次年度の投入計画案を作成し、モロッコ国側関係者、JICAモロッコ事務所と協議を行う。
- ⑤ 現地業務結果報告書(和文、英文または仏文)を作成し、JICAモロッコ事務所及びC/P機関に提出・説明する。

(5) 国内整理期間（2014年12月上旬）

- ① 現地業務結果を、JICA農村開発部へ報告する。

- ② 今後の活動計画について、必要に応じて業務計画書(和文、英文または仏文)を改訂し、JICA農村開発部へ説明を行う。

(6) 第3次現地派遣期間(2015年1月上旬～2015年3月中旬)

- ① JICAモロッコ事務所、C/P、プロジェクト専門家に対して、業務計画の説明を行い、内容を確認する。
- ② C/Pが主体となって行う以下(ア)～(エ)の活動について、技術的な指導・助言を行う。
 - (ア) 農家の契約栽培及び各種補助金申請の手続きを支援する
 - (イ) 点滴灌漑によるパイロット営農活動のモニタリング及び評価を実施する。
 - (ウ) 営農計画(最終版)に沿った雨季パイロット営農活動における栽培及びマーケティングの現地研修を実施する。
 - (エ) 点滴灌漑による雨季パイロット営農活動における作物の栽培事例を取りまとめ、簡易版栽培マニュアル(英文または仏文)を改訂する。
- ③ 次年度雨季の営農計画の改訂及び農家への説明を行う。
- ④ 営農に係る次年度の投入計画案を作成し、モロッコ国側関係者、JICAモロッコ事務所と協議を行う。
- ⑤ 現地業務結果報告書(和文、英文または仏文)を作成し、JICAモロッコ事務所及びC/P機関に提出・説明する。

(7) 帰国後整理期間(2015年3月下旬)

- ① 現地業務結果を、JICA農村開発部へ報告する。
- ② 2015年度以降に必要とされる営農に関する活動計画について、必要に応じて業務計画書案(和文、英文または仏文)を作成し、JICA農村開発部へ説明を行う。
- ③ 専門家業務完了報告書(和文)を作成し、JICA農村開発部に提出・説明する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は(3) 専門家業務完了報告書とする。

(1) 業務計画書(全体・第1次)

和文2部 (JICA農村開発部、JICAモロッコ事務所)

英文(または仏文)3部(C/P機関、JICA農村開発部、JICAモロッコ事務所)

現地派遣期間中に実施する業務内容を関係者と共有するために作成。業務の具体的内容(案)などを記載。

(2) 現地業務結果報告書(各派遣終了時)

和文2部 (JICA農村開発部、JICAモロッコ事務所)

英文(または仏文)3部(C/P機関、JICA農村開発部、JICAモロッコ事務所)

記載項目は以下のとおり。

- ① 業務の具体的内容
- ② 業務の達成状況

(3) 専門家業務完了報告書

和文2部 (JICA農村開発部、JICAモロッコ事務所)

記載項目は以下のとおり。

- ① 業務の具体的内容
- ② 業務の達成状況
- ③ 業務実施上遭遇した課題とその対処
- ④ プロジェクト実施上の残された課題 (営農に関わるもの)
- ⑤ その他

上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データも併せて提出すること。また、現地派遣期間中は業務従事月報を作成し、JICAモロッコ事務所に提出すること。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。

留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます (見積書に計上して下さい)。

航空経路は、日本⇒パリ⇒カサブランカ⇒パリ⇒日本を標準とします。

(2) 直接人件費月額単価

・直接人件費月額単価については、平成26年度単価を上限とします。

(<http://www.jica.go.jp/announce/information/20140212.html>)

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地業務日程は以下のとおり予定していますが、ある程度の日程調整は可能です。

第1次現地派遣期間：2014年4月26日～2014年6月19日

第2次現地派遣期間：2014年8月18日～2014年12月5日

第3次現地派遣期間：2015年1月5日～2015年3月20日

② 現地での業務体制

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです (本業務の第1

次現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています)。

- ・チーフアドバイザー (長期派遣専門家)
- ・灌漑技術 (長期派遣専門家)
- ・業務調整 (長期派遣専門家)

③便宜供与内容

モロッコ事務所及びプロジェクト専門家チームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舎手配
あり
- ウ) 車両借上げ
必要な移動に係る車両の提供 (市外地域への移動を含む。)
- エ) 通訳備上
あり (英語⇔仏語)。なお、仏語の関連資料はアシスタントスタッフが必要に応じて翻訳を行います。
- オ) 現地日程のアレンジ
プロジェクトチームが必要に応じアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供
ORMVAD内プロジェクトオフィスにおける執務スペース提供 (ネット環境完備)

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・プロジェクト基本情報 (ナレッジサイトトップ>プロジェクト情報>スキーム別&国別一覧>プロジェクト基本情報)
- ・モロッコ王国 「アブダ・ドゥカラ灌漑事業」 円借款附帯プロジェクト詳細計画策定調査(1) 報告書
(<http://libopac.jica.go.jp/search/detail.do?rowIndex=1&method=detail&bibId=0000254752>)
- ・モロッコ王国 アブダ・ドゥカラ灌漑地域における灌漑システム向上プロジェクト詳細計画策定調査(II) 報告書
(<http://libopac.jica.go.jp/search/detail.do?rowIndex=0&method=detail&bibId=1000001428>)

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②モロッコ国内での作業においては、機構の安全管理措置を遵守するとともに、機構総務部安全管理室、モロッコ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとする。

以上